

受付No.

2026年度 アートによる地域振興助成（一般）

公益財団法人 福武財団 理事長 福武英明殿

募集要項に則り、本応募用紙に記載した通り、標記助成に応募いたします。

<団体プロフィール>

団体名	tvms				
住所	〒321-1431 栃木県日光市山内2330				
団体区分	任意団体	スタッフ数	7名		
代表者氏名(カナ)	カナザワ ユキ	役職	代表	年代	50代前半
代表者氏名	金沢/Eastman(通称) 雪/Anne(通称)				
団体URL1	http://troedssonvilla.org/				
団体URL2					

<申請者・実務担当者> ※団体所在地と同じ場合は「同上」*申請者には、助成に関する諸手続きの連絡担当者の名前を記入してください。

申請者氏名(カナ)	ヤマネ カズアキ	役職	会計兼書記	年代	40代前半
申請者氏名	山根 一晃				
連絡先 e-mail	yamanonek@gmail.com	電話番号	090-6849-6419		
住所(書類の送付先)	〒252-0144 神奈川県相模原市緑区東橋本4-14-3ジュネス山口A205				

<プロジェクトリーダーの略歴> ※アートプロジェクト等の運営経験や当時の役割を記載してください。

氏名(カナ)	カナザワ ユキ	役職/肩書	代表	年代	50代前半
氏名	金沢/Eastman(通称) 雪/Anne(通称)				
年(西暦) 月	略歴(活動内容)				
2015年3月	レジデンス施設「TROEDSSON VILLA」設立。発案、企画、運営				
2015年3月	企画展示展示「FOR TROEDSSON VILLA」発案、企画				
2016年9月	「TV MOUNTAIN SCHOOL」を設立。発案、企画				
2016年9月	「audience ⇄ one, Eastman Pippin」The Green Gallery / Milwaukee				
2017年4月	「Knock-On Effect」Situations / NY				
2010年3月	「Seen From Elsewhere」Galerie Francis Ruyter / Kantgasse Vienna				
2014年2月	「The Inside of the Outside」Essex Flowers / NY				
2021年10月	「We Passed The Setting Sun Part 2」哲夫のガレージ(日光)				
2021年9月	「Mountain Passage」ANOMALY(東京)				
2025年8月	企画展示「Zureta」Pawnbroker's Museum(日光、出品13名)				

<福武財団の助成実績>

助成を受けて活動した年度

<外部協力者の状況>

氏名	年代	組織名	所在地(市町村まで)	協力内容(できるだけ具体的に)
高田智	50代前半	有限会社高田工務店 高田一級建築士事務所	栃木県日光市中宮祠	建築、内装などに関するアドバイス及び作業を行う、奥日光に関する情報を提供。美術と建築に関する情報の交換。
山口雅宏	40代前半	めぐりcafe経営	日光市霧降	ワークショップにおいての場所の提供及び観光地としての日光の町についての教示。
福田春奈	30代前半	個人(教育)	鹿沼市	特別支援教育に関する協働、インクルーシブなプログラム支援。
関口詩乃	30代前半	日光小杉放庵美術館	日光市山内	広報援助、日光と美術に関する交流・対話支援、美術館との連携可能性。
福田大介	40代前半	Torch(キャンプサイト等)	日光周辺	キャンプ運営、コワーキング、SUP・トレイル運営支援、現地ロジスティクス支援。

<活動内容・事業計画について>

表現手法	地域型芸術祭
活動テーマ	街中（の地域振興）
事業名	Light in August（8月の光）
2026年度の活動期間	2026/08/09～2026/08/31
活動に従事するスタッフ数	7名

1. 団体の活動の概要

<p>当団体は、トレッドソンヴィラを拠点に「TV MOUNTAIN SCHOOL」の運営、てつおのガラーヂを中心とした日光の空きスペースでの不定期展示企画、地域住民・国内外アーティストとのワークショップや交流を行う流動的な共同体です。現代美術の実践を通じて、日光という地域の特殊性に光を当て、住民と来訪者双方に新たな視座をもたらすことを目指しています。</p>
--

2. これまでの活動の沿革

申請事業の活動年数	7～10年	
年（西暦）	月	活動内容
2015年	3月	Troedsson Villa（レジデンス）設立：これまで31名の国際アーティストを受け入れた
2016年	7月	TV MOUNTAIN SCHOOLの設立（落合多武との共同企画）
2016年	8月	「TV Mountain School」を日光周辺で開催
2017年	11月	てつおのガラーヂ開設・展覧会開催
2017年	11月	企画展示「サテライトtv」の開催
2017年	12月	音楽ワークショップ「overtone & contagious.」の開催
2018年	8月	「TV Mountain School」を日光周辺で開催
2019年	8月	企画展示「ぬりかべ」開催
2019年	8月	「Mountain School」を日光周辺で開催
2023年	8月	ワークショップ「aqua de agosto（八月の水）」をホリデーヴィラで実施

3. 活動エリアについて

活動エリア	栃木県 日光市山内
活動エリアの特色（歴史、文化、地域性、魅力など）	日光は古くからの修験・信仰の場であり、輪王寺（建立766年）をはじめ、二社一寺（輪王寺、二荒山神社、東照宮）や大猷院 など多数の史跡や文化財を有する世界的な観光地です。奥日光の大自然と旧日光の町が二層構造を形成し、宗教、観光、地域コミュニティが交錯するユニークな場所です。
活動エリアの課題（まず初めに、活動エリアにおける課題を簡潔にご記載ください。続けて、その課題の背景や詳細について、できるだけ具体的に記入ください。）	日本で最も古く代表的な観光地の一つとして、観光最優先の傾向が急速に地域の歴史的雰囲気やコミュニティの記憶を蝕んでいます。遺産へと続く伝統的なルート沿いの緑地や古い建物が、駐車場や拡張された道路に置き換えられ、来訪者の利便性が地域生活より優先される傾向があります。住民の集いや交流の場は減少し、観光向け商業施設の増加により生活環境が悪化し、若年層にとって魅力あるまちでなくなりつつあります。都市計画や観光業界の企業的圧力は、地域社会の持続や歴史・文化の保存よりも「観光資源」の短期的価値抽出に傾きがちです。
貴団体の地域に対するミッション（活動の目的）	私たちは、地域住民と観光客の間に立つ「第三の視点」として、アートと地域史の観点から都市計画や観光の課題を問い直すプロジェクトを行います。比喩や詩的なフレーミングを用いることで、住民と来訪者双方の視点を転換し、地域建築や忘れられた共同空間への再評価を促します。

7. 2026年度のプロジェク評価の観点や指標をどのように設定しますか。

定性（状態的な目標）、定量（数値的目標）をお書きください。

- ・地域住民がアーティストや来訪者と直接、経験や歴史を共有する機会が生まれること。
- ・土産物を媒介にした住民・アーティスト・来訪者間の新しい交換のかたちを探究すること。
- ・住民・来訪者・アーティスト間の対話が活性化されること。
- ・歴史的建築や緑地、地域の雰囲気や価値が地域内で再評価されること。
- ・芸術的介入や共同体の経験を通じた地域建築・文化記憶の保存意識の高まり。
- ・日常生活におけるアートや哲学の統合が住民に認識されること。
- ・長期的には、地域の主体性の強化、保存活動の活発化、場への再結びつきが進むこと。
- ・目標参加者数（概算）
 - 地元住民：1000名
 - 観光客：約1,100名（日光市が公表している2024年8月の観光客入込数1,110,435人の0.1%）
 - アーティスト、キュレーター、ギャラリスト、専門家：120名
 - 総来場者数（概算）：2,220名

8. 2026年度の翌年以降の、地域に持続的に関わる中期計画と将来ビジョンをお書きください。

※一般申請者は、その計画・ビジョンの展開がこれまでの活動の積み重なりどのように紐づいているかと、その展開に事業や運営体制をどのように反映していくかについてもお書きください。

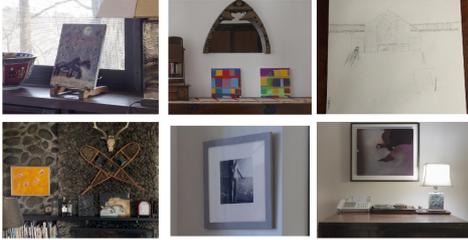
2026年度のプロジェクは、これまで継続してきた日光での活動の中間に位置付けられます。前半の10年間を、現代美術の文脈の中での活動とすれば、今後の10年は、現代美術中心の活動から日常生活へと芸術を統合していくことを目標としていきます。それはある意味で、全ての人々がアーティストになり、すべての出来事がアートになっていくことを意味しています。具体的な中期計画としては、日常生活に介入する芸術性と、非日常的な芸術独自のアイデアの間に、地域主導の保全活動を支援し、商業観光に依存しない代替的な文化基盤の構築を地元住民とアーティストを含むアート関係者と共に目指していきます。その過程で、消費活動を促す観光事業を中心に整備されていく都市計画において抑圧された、生活者の美と自然美によって織り上げられた都市の記憶を巡る詩的なガイドブックを、地元住民や地元美術館との協働のなかで制作します。また、私たちの取り組みが、観光地化していくことで均質化し一般化していく他の地域の特殊性を取り戻すためのケーススタディになるように、社会を構成するさまざまな分野の構成員と横断的に関わりながら知見を深め、またそれらを他者へ共有し続けます。

9. 2026年度以降、複数年の助成を希望していますか？

はい

<活動の様子>

FOR TROEDSSON VILLA, exhibition 2015, co-organized with firm Ochiai

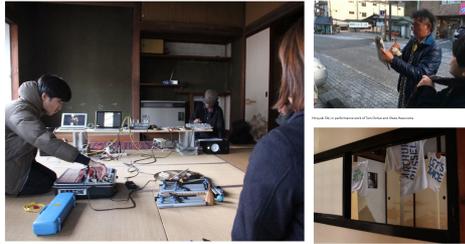


TROEDSSON VILLA MOUNTAIN SCHOOL - STATEMENTS TOKYO



2015年に日光で行ったトレッドソン別邸での展示風景。プロジェクトスペースでの展示風景。

SATELLITE TV 2017



「Zureta」Pavvbroker's Museum 2025



2017年に行った日光市でのパフォーマンス風景と2025年に行った「Zureta」の展示風景。

NURIKABE 2019



TV MOUNTAIN SCHOOL 2019



2019年に行った、日光市での展示風景と、2019年に行ったイベント、展示、ワークショップ風景。

